

プロジェクト 企業の農業参入の推進（新規）

目標

- ・農業生産参入法人数 R4：77社 → R10：110社
うち、県外からの参入数 R10：2社
- ・りんご産地との連携企業数 R10：4社以上

挑戦する内容

- ・企業の本県への農業参入に向けたオーダーメイド型の支援
- ・企業の農業参入に対応する受入態勢づくり
- ・企業とりんご生産者等との連携、加工事業者のりんご生産の参入支援

関係者の声
＝対話

- ・担い手としての企業の力が必要（農業者）
- ・高齢化や担い手不足による耕作放棄地が増加（農業者）
- ・農地の確保が困難（農業参入企業）
- ・技術不足で収益性が安定しない（農業参入企業）

役割分担

- ・市町村：農地の確保に関する情報収集・マッチング、農業者・周辺住民との連絡調整、多様な業種との連携を検討
- ・農業委員会：農地所有者・農業者との連絡調整、農地情報の発信
- ・農地中間管理機構：農地の確保に関する情報収集・マッチング
- ・県：企業の意向調査・ニーズの把握、支援策の検討、市町村と連携した受入態勢づくり、参入企業への技術取得支援、農地情報の発信

変革後の姿

- ・農業参入企業の効率的な農業経営の実現による本県農業の持続的な発展

令和7年度計画

挑戦する内容

- 1 企業の本県への農業参入に向けたオーダーメイド型の支援
 - ・本県への農業参入意向のある企業の情報を把握するため、アンケートで意向を調査
 - ・企業訪問で参入に向けた具体的なニーズや課題を把握し、個別対応するオーダーメイド型の支援策（R8以降に実施）の検討
- 2 企業の農業参入に対応する受入態勢づくり
 - ・参入ニーズを受入希望市町村と共有し、県と市町村が連携して対応する態勢を整備
 - ・農地情報サイトをフル活用した情報提供
 - ・技術アドバイザー派遣による営農面等でのフォローアップ
- 3 企業とりんご生産者等との連携、加工事業者のりんご生産の参入支援
 - ・連携意向のある企業の人事担当者等を対象としたモニターツアーの実施
 - ・企業が従業員を生産現場に派遣・出向等させる試験的な取組の支援
 - ・加工事業者が新たにりんごの自社生産等にチャレンジする際の経費の補助



アドバイザーによる指導

青森県農地情報サイト
(画像は開発中のもの)

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・市町村を対象とした受入態勢整備に関する説明会を開催（7月）
- ・市町村及び関係機関との農地に関する情報共有（随時）
- ・企業訪問による課題・ニーズ等の聞き取り及び本県農業への理解促進（10～3月）